

症例 番号	性別	生年(西 暦)	2006年 度所見	2007年 度X線所 見	2007年 度CT	最新の 所見	疾患名	A.直接 臓器あり	I.間接 臓器あり	ウ.家庭 内ばく露 あり	エ.立入・ 屋内環 境ばく露 あり	オ.その 他	ばく露歴 分類案	備考(その他所見)	備考(終了理 由)
206	女	1940代	—	⑩	○	⑩	なし		●		●	●	イ	肝のう胞?、左 中肺野索状影	
207	女	1940代	—	⑩	○	⑩	なし		●			●	イ	左乳野索状影、 右S3-S8気管 支、血管収束 影	
208	男	1960代	なし	不変	—	なし	なし		●			●	イ		
209	女	1930代	②	不変	—	②	なし		●			●	イ		
210	男	1940代	②	不変	—	②	なし		●			●	イ		
211	男	1940代	②,⑩	不変	—	②,⑩	なし		●			●	イ	肋骨横隔膜角 鈍化	
212	女	1930代	なし	不変	—	なし	なし		●			●	イ		
213	女	1950代	なし	不変	—	なし	なし		●			●	イ		
214	男	1940代	⑩	新所見	—	⑩	なし		●			●	イ	左下肺野小結 節	
215	女	1940代	②,⑨, ⑩	増悪	—	②,⑨, ⑩	なし		●			●	イ	右中肺野結節 増大	
216	男	1940代	⑨,⑩	不変	—	⑨,⑩	なし		●			●	イ	気腫性変化	
217	男	1930代	②,⑨	不変	—	②,⑨	なし		●			●	イ		
218	男	1930代	②,⑨, ⑩	不変	—	②,⑨, ⑩	f		●			●	イ	肺気腫	
219	女	1940代	—	⑩	○	⑩	—		●			●	イ	肺尖胸膜肥厚	
220	男	1940代	—	⑩	○	⑩	—		●			●	イ	左S3,4小結節	
221	男	1960代	—	なし	○	なし	—		●			●	イ		
222	男	1940代	—	⑩	○	⑩	なし		●			●	イ	肺尖胸膜肥厚	
223	女	1960代	—	なし	○	なし	—		●			●	イ		
224	男	1930代	—	⑩	○	⑩	—		●			●	イ	右S3結節3mm	
225	男	1960代	—	なし	○	なし	—		●			●	イ		
226	女	1940代	—	⑩	○	⑩	—		●			●	イ	右S8索状影	
227	男	1940代	—	⑩	○	⑩	なし		●			●	イ	右S3結節、肺 気腫	
228	女	1940代	—	⑩	○	⑩	なし		●			●	イ	両肺尖線状影	
229	女	1960代	—	なし	○	なし	なし			●			ウ		
230	女	1940代	なし	不変	—	なし	なし			●			ウ		
231	女	1960代	②,⑩	不変	—	②,⑩	f			●			ウ	気腫性変化	
232	男	1950代	なし	不変	—	なし	なし			●			ウ		
233	女	1930代	②,⑩	不変	—	②,⑩	なし			●			ウ	左下野石灰 像、気腫性変	
234	女	1940代	なし	不変	—	なし	なし			●			ウ		
235	女	1930代	なし	不変	—	なし	なし			●			ウ		
236	女	1950代	⑩	不変	—	⑩	なし			●			ウ	気管支拡張	
237	女	1940代	—	なし	○	なし	なし			●			ウ		
238	女	1950代	なし	不変	—	なし	なし			●	●		ウ		
239	男	1960代	⑨	不変	—	⑨	なし			●	●		ウ		
240	女	1950代	なし	不変	—	なし	なし			●	●		ウ		
241	女	1940代	②,⑨	不変	—	②,⑨	なし			●	●		ウ		
242	女	1960代	なし	不変	—	なし	なし			●	●		ウ		
243	男	1950代	②,⑨	不変	—	②,⑨	なし			●	●		ウ		
244	男	1960代	②	不変	—	②	なし			●	●		ウ		
245	女	1960代	—	なし	○	なし	なし			●	●	●	ウ		
246	女	1930代	②	不変	—	②	なし			●	●	●	ウ		
247	女	1950代	なし	不変	—	なし	なし			●	●	●	ウ		
248	女	1940代	—	⑩	○	⑩	なし			●		●	ウ	肝のう胞	
249	女	1940代	なし	不変	—	なし	なし			●		●	ウ		
250	男	1950代	②	新所見	—	②,⑩	なし			●		●	ウ	右中肺野索状 影	
251	女	1940代	なし	不変	—	なし	なし			●		●	ウ		
252	女	1950代	なし	不変	—	なし	なし			●		●	ウ		
253	女	1950代	②	不変	—	②	なし			●		●	ウ		
254	男	1950代	②,⑩	不変	—	②,⑩	f			●		●	ウ	肺気腫	
255	男	1960代	②	不変	—	②	なし			●		●	ウ		
256	女	1960代	なし	不変	—	なし	なし			●		●	ウ		
257	女	1940代	②,⑤, ⑥	不変	—	②,⑤, ⑥	なし			●		●	ウ		
258	女	1940代	なし	不変	—	なし	なし			●		●	ウ		
259	女	1940代	なし	不変	—	なし	なし			●		●	ウ		
260	女	1950代	なし	不変	—	なし	なし			●		●	ウ		
261	女	1940代	なし	不変	—	なし	なし			●		●	ウ		
262	女	1950代	なし	不変	—	なし	なし			●		●	ウ		
263	女	1940代	—	⑩	○	⑩	なし			●		●	ウ	右S7結節	

症例 番号	性別	生年(西 暦)	2006年 度所見	2007年 度X線所 見	2007年 度CT	最新の 所見	疾患名	A.直接 職歴あり	I.間接 職歴あり	ウ.家庭 内ばく露 あり	E.立入・ 屋内環 境ばく露 あり	オ.その 他	ばく露歴 分類素	備考(その他所見)	備考(終了理 由)
264	女	1930代	—	⑩	○	⑩	—			●		●	ウ	左下葉炎症様 所見	
265	男	1940代	—	なし	○	なし	なし			●		●	ウ		
266	男	1920代	②,⑨, ⑩	不変	—	②,⑨, ⑩	f				●		エ	ブラ、肺気腫	
267	女	1940代	なし	不変	—	なし	なし				●		エ		
268	男	1960代	⑩	不変	—	⑩	なし				●		エ	気管支拡張	
269	男	1960代	なし	不変	—	なし	なし				●		エ		
270	男	1930代	—	⑩	○	⑩	なし				●		エ	左肺尖・左中肺 野索状～斑状	
271	女	1950代	—	なし	○	なし	なし				●	●	エ		
272	女	1930代	—	②,⑩	○	②,⑩	なし				●	●	エ	慢性気管支拡張、慢性炎症 疑い	
273	男	1950代	—	⑩	○	⑩	なし				●	●	エ	右S5粒状影、 炎症後変化	
274	女	1960代	—	⑩	○	⑩	なし				●	●	エ	右S4結節	
275	女	1960代	—	⑩	○	⑩	なし				●	●	エ	右肺尖ブラ	
276	男	1950代	—	⑩	○	⑩	なし				●	●	エ	肝右葉低吸収	
277	女	1960代	—	なし	○	なし	なし				●	●	エ		
278	女	1960代	なし	不変	—	なし	なし				●	●	エ		
279	女	1960代	⑩	不変	—	⑩	なし				●	●	エ	肺気腫	
280	女	1950代	⑩	不変	○	⑩	なし				●	●	エ	粒状影	
281	男	1940代	なし	不変	—	なし	なし				●	●	エ		
282	男	1950代	②	不変	—	②	なし				●	●	エ		
283	男	1940代	—	⑩	○	⑩	—				●	●	エ	小結節、bleb or bulia	
284	女	1930代	—	⑩	○	⑩	—				●	●	エ	左副腎腫大疑 い、左スリガラ ス陰影	
285	男	1950代	—	⑩	○	⑩	—				●	●	エ	右S1軽度胸膜 肥厚	
286	男	1930代	—	⑩	○	⑩	—				●	●	エ	炎症後変化	
287	男	1940代	—	なし	○	なし	なし				●	●	エ		
288	男	1930代	—	⑩	○	⑩	なし				●	●	エ		
289	女	1940代	—	⑩	○	⑩	—				●	●	エ	右S8結節4mm	
290	男	1950代	—	⑩	○	⑩	—				●	●	エ	両肺尖硬化巣	
291	男	1920代	—	⑩	○	⑩	—				●	●	エ	左下葉、炎症 様所見	
292	男	1940代	—	⑩	○	⑩	なし				●	●	エ	左肺尖胸膜肥	
293	女	1930代	—	⑩	○	⑩	なし				●	●	エ	肺気腫	
294	女	1930代	—	②,⑩	○	②,⑩	なし				●	●	エ	右S1結節	
295	女	1950代	—	なし	○	なし	なし				●	●	エ	右中葉索状影	
296	男	1930代	—	なし	○	なし	なし				●	●	オ		
297	男	1940代	—	なし	○	なし	なし				●	●	オ		
298	女	1940代	—	⑩	○	⑩	なし				●	●	オ	右S4索状影、 左S5不整形陰 影、右S9・ 3mm、右S8・ 5mm結節	
299	女	1950代	—	⑩	○	⑩	なし				●	●	オ	右上葉・左右下 葉不整形陰 影、硬化巣、索状 影	
300	男	1950代	—	⑩	○	⑩	なし				●	●	オ	左S9ブラ	
301	女	1930代	—	⑩	○	⑩	なし				●	●	オ		
302	女	1920代	—	⑩	○	⑩	なし				●	●	オ	左中肺野結節	
303	男	1920代	—	①,⑦	○	①,⑦	なし				●	●	オ		
304	女	1940代	—	⑩	○	⑩	なし				●	●	オ	前縦隔腫瘍	
305	女	1920代	—	⑧	○	⑧	なし				●	●	オ	右中葉、左舌 区索状～斑状	
306	男	1960代	—	⑩	○	⑩	なし				●	●	オ	左副腎腫瘍	
307	女	1940代	—	⑩	○	⑩	なし				●	●	オ	右S5結節影	
308	女	1940代	—	⑩	○	⑩	なし				●	●	オ	心陰影拡大、 気管支拡張、 右上中葉索状 影	
309	女	1930代	—	⑩	○	⑩	なし				●	●	オ	右上中葉間結 核	
310	女	1930代	—	⑩	○	⑩	なし				●	●	オ	右S3結節3mm2 個	
311	女	1960代	—	⑩	○	⑩	なし				●	●	オ		
312	女	1940代	—	⑩	○	⑩	なし				●	●	オ		

症例 番号	性別	生年(西 暦)	2006年 度所見	2007年 度X線所 見	2007年 度CT	最新の 所見	疾患名	A,直接 膿あり	I,間接 膿あり	ウ,家庭 内ばく露 あり	E,立入・ 室内環 境ばく露 あり	オ,その 他	ばく露歴 分類案	備考(その他所見)	備考(終了理 由)
313	男	1930代	—	②	○	②	なし					●	オ		
314	女	1940代	—	⑩	○	⑩	なし					●	オ	肺気腫、プラ、 GGO	
315	男	1940代	—	⑩	○	⑩	なし					●	オ	左S5索状影	
316	男	1930代	—	⑩	○	⑩	なし					●	オ	左S5索状影	
317	男	1940代	なし	不変	—	なし	なし					●	オ		
318	女	1940代	なし	新所見	—	⑩	なし					●	オ	粒状影	
319	男	1930代	なし	不変	—	なし	なし					●	オ		
320	女	1950代	⑩	不変	—	⑩	なし					●	オ	プラ	
321	男	1920代	なし	不変	—	なし	なし					●	オ		
322	女	1930代	⑨,⑩	不変	—	⑨,⑩	なし					●	オ	気腫性変化	
323	女	1930代	⑧,⑩	増悪	○	⑧,⑩	なし					●	オ	気管支拡張症	
324	女	1950代	なし	不変	—	なし	なし					●	オ		
325	男	1930代	②,⑩	不変	—	②,⑩	なし					●	オ	肋骨横隔膜角 鈍化	
326	女	1940代	⑩	不変	—	⑩	なし					●	オ	気管支拡張	
327	女	1940代	②	不変	○	②	なし					●	オ		
328	女	1930代	なし	不変	—	なし	なし					●	オ		
329	男	1920代	⑩	不変	—	⑩	なし					●	オ	左横隔膜挙上	
330	女	1930代	なし	不変	—	なし	なし					●	オ		
331	男	1950代	—	なし	○	なし	なし					●	オ		
332	女	1950代	—	なし	○	なし	なし					●	オ		
333	男	1930代	—	⑩	○	⑩	なし					●	オ	肺尖胸膜肥 厚、右S5炎症 後変化	
334	女	1940代	—	なし	○	なし	なし					●	オ		
335	女	1940代	なし	不変	—	なし	なし					●	オ		
336	女	1940代	なし	不変	—	なし	なし					●	オ		
337	男	1940代	②,⑧, ⑩	不変	—	②,⑧, ⑩	f					●	オ	肺気腫	
338	男	1930代	⑩	不変	—	⑩	なし					●	オ	気腫性変化	
339	女	1960代	⑩	不変	—	⑩	なし					●	オ	気腫性変化	
340	男	1950代	⑩	新所見	—	⑩	なし					●	オ	OP後	
341	女	1940代	なし	不変	—	なし	なし					●	オ		
342	女	1920代	⑨,⑩	不変	—	⑨,⑩	f					●	オ	食道裂孔ヘル ニア疑い	
343	女	1950代	なし	不変	—	なし	なし					●	オ		
344	男	1930代	なし	新所見	—	⑩	なし					●	オ	斑状影	
345	男	1930代	①	不変	—	①	f					●	オ		
346	女	1940代	なし	不変	—	なし	なし					●	オ		
347	女	1940代	なし	不変	—	なし	なし					●	オ		
348	女	1940代	②	不変	—	②	なし					●	オ		
349	男	1920代	②,⑤, ⑦	不変	—	②,⑤, ⑦	なし					●	オ		
350	女	1940代	なし	不変	—	なし	なし					●	オ		
351	女	1950代	②,⑦	不変	—	②,⑦	なし					●	オ		
352	女	1930代	なし	不変	—	なし	なし					●	オ		
353	女	1940代	②,⑨	不変	—	②,⑨	なし					●	オ		
354	男	1930代	②	不変	—	②	なし					●	オ		
355	男	1930代	⑩	不変	—	⑩	なし					●	オ	炎症後変化	
356	女	1930代	②,⑩	不変	—	②,⑩	なし					●	オ	心肥大	
357	男	1950代	なし	不変	—	なし	なし					●	オ		
358	男	1950代	⑨,⑩	不変	—	⑨,⑩	なし					●	オ	プラ	
359	女	1940代	⑧,⑩	不変	—	⑧,⑩	なし					●	オ	気腫性変化	
360	男	1940代	なし	不変	—	なし	なし					●	オ		
361	女	1940代	なし	不変	—	なし	なし					●	オ		
362	女	1940代	⑨,⑩	不変	○	⑨,⑩	f					●	オ	肺気腫	
363	女	1940代	なし	不変	—	なし	なし					●	オ		
364	女	1930代	②	不変	—	②	なし					●	オ		
365	女	1930代	②	不変	—	②	なし					●	オ		
366	女	1930代	⑩	増悪	—	⑩	なし					●	オ	肋骨横隔膜角 鈍化	
367	男	1940代	なし	不変	—	なし	なし					●	オ		
368	女	1940代	⑩	不変	—	⑩	なし					●	オ	気腫性変化	
369	女	1960代	なし	不変	—	なし	なし					●	オ		
370	女	1930代	なし	不変	—	なし	なし					●	オ		
371	女	1940代	⑩	不変	—	⑩	なし					●	オ	気腫性変化	
372	女	1940代	なし	不変	—	なし	なし					●	オ		

症例 番号	性別	生年(西 暦)	2006年 度所見	2007年 度X線所 見	2007年 度CT	最新の 所見	疾患名	A.直接 観歴あり	I.間接 観歴あり	ウ.家庭 内ばく露 あり	エ.立入・ 屋内環 境ばく露 あり	オ.その 他	ばく露歴 分類案	備考(その他所見)	備考(終了理 由)
373	女	1930代	②,⑧, ⑨	不変	○	②,⑧, ⑨	なし					●	オ		
374	女	1930代	なし	不変	—	なし	なし					●	オ		
375	男	1930代	②,⑨	不変	—	②,⑨	なし					●	オ		
376	男	1930代	②	不変	—	②	なし					●	オ		
377	女	1940代	なし	新所見	—	⑩	なし					●	オ	右肺尖部小結	
378	男	1930代	②	不変	—	②	なし					●	オ		
379	女	1930代	なし	不変	—	なし	なし					●	オ		
380	女	1940代	なし	不変	—	なし	なし					●	オ		
381	男	1930代	—	なし	○	なし	なし					●	オ		
382	女	1940代	—	なし	○	なし	なし					●	オ		
383	女	1940代	—	⑩	○	⑩	なし					●	オ		
384	女	1960代	—	なし	○	なし	なし					●	オ	粒状影	
385	女	1950代	—	⑩	○	⑩	なし					●	オ	右肺尖部胸膜 肥厚	
386	男	1960代	—	なし	○	なし	なし					●	オ		
387	女	1940代	—	⑩	○	⑩	なし					●	オ	肺内石灰化、 食道ヘルニア	
388	男	1940代	—	⑩	○	⑩	なし					●	オ	小結節影 3mm、葉間リン	
389	女	1940代	—	なし	○	なし	なし					●	オ		
390	女	1930代	—	⑩	○	⑩	なし					●	オ	小石灰化結 節、胆石	
391	女	1950代	—	⑩	○	⑩	なし					●	オ	心臓小石灰化	
392	女	1930代	—	⑩	○	⑩	なし					●	オ	肺尖部胸膜肥 厚、炎症後変 化、	
393	女	1930代	—	⑩	○	⑩	なし					●	オ	甲状腺のう胞、 左葉間胸膜肥 厚	
394	女	1950代	—	なし	○	なし	なし					●	オ		
395	女	1920代	—	⑩	○	⑩	なし					●	オ	左中肺野石灰 化索状影	
396	男	1950代	—	⑩	○	⑩	なし					●	オ	両肺横隔膜面 線状影	
397	女	1950代	—	⑩	○	⑩	なし					●	オ	肝のう胞、左腎 のう胞	
398	男	1920代	—	②,⑤	○	②,⑤	なし					●	オ		
399	男	1940代	—	⑩	○	⑩	なし					●	オ	左下肺線状影	
400	女	1940代	—	⑩	○	⑩	なし					●	オ	両中肺野斑状 ~索状影	
401	女	1940代	—	なし	○	なし	なし					●	オ		
402	女	1940代	—	⑩	○	⑩	なし					●	オ	右S9小結節	
403	女	1940代	—	⑩	○	⑩	なし					●	オ	左S5胸膜肥厚	
404	男	1920代	—	⑩	○	⑩	なし					●	オ	肺尖部石灰化	
405	女	1940代	—	⑩	○	⑩	なし					●	オ	胸膜肥厚、左 S5小結節	
406	男	1930代	—	⑩	○	⑩	なし					●	オ	右S6索状影	
407	女	1940代	—	⑩	○	⑩	なし					●	オ	左下葉線状影	
408	男	1950代	—	⑩	○	⑩	なし					●	オ	左腎のう胞、左 腎石、左下肺 野スリガラス陰 影	
409	女	1940代	—	⑩	○	⑩	なし					●	オ	左S9索状影+小 結節	
410	女	1940代	—	⑩	○	⑩	なし					●	オ	右中葉索状 影、右中肺野	
411	男	1940代	—	⑩	○	⑩	なし					●	オ	右肺尖胸膜肥 厚	
412	男	1930代	—	⑩	○	⑩	なし					●	オ	右S5,8粒状影、 斑状影	
413	女	1940代	—	⑩	○	⑩	なし					●	オ	舌区炎症後変 化、甲状腺左 葉低吸収域	
414	男	1930代	—	⑩	○	⑩	なし					●	オ	左下葉炎症様 所見	
415	女	1940代	—	⑩	○	⑩	なし					●	オ	右S2GGO	
416	男	1950代	—	なし	○	なし	なし					●	オ		
417	女	1940代	—	②	○	②	なし					●	オ		
418	男	1920代	—	②,⑩	○	②,⑩	なし					●	オ	old pleuritis 石灰化あり	
419	女	1930代	—	⑧,⑩	○	⑧,⑩	なし					●	オ	両肺尖胸膜肥	
420	女	1960代	—	⑩	○	⑩	なし					●	オ	肺尖部胸膜肥	
421	男	1950代	—	⑩	○	⑩	なし					●	オ	舌区炎症後変	
422	男	1950代	—	⑩	○	⑩	なし					●	オ	肺気腫	
423	女	1960代	—	⑩	○	⑩	なし					●	オ	石灰化	
424	男	1950代	—	⑩	○	⑩	なし					●	オ	右S4左S10結 節影、右上葉ブ ラ・胸膜肥厚	
425	女	1960代	—	⑩	○	⑩	なし					●	オ	葉間結節3mm	

症例 番号	性別	生年(西 暦)	2006年 度所見	2007年 度X線所 見	2007年 度CT	最新の 所見	疾患名	A.直接 職歴あり	I.間接 職歴あり	ウ.家庭 内ばく露 あり	エ.立入・ 屋内環 境ばく露 あり	オ.その 他	ばく露歴 分類案	備考(その他所見)	備考(終了理 由)
426	男	1940代	—	なし	○	なし	なし					●	オ		
427	女	1950代	—	⑩	○	⑩	なし					●	オ	右S1結節4mm	
428	男	1940代	—	⑩	○	⑩	なし					●	オ	前縦隔腫瘍	
429	女	1940代	—	なし	○	なし	なし					●	オ		
430	男	1940代	—	⑩	○	⑩	なし					●	オ	左S8結節3mm	
431	男	1930代	—	⑩	○	⑩	なし					●	オ	左腎のう胞、右 下肺石灰化小 結節、右肺門 縦隔石灰化リン パ節、両肺尖 胸膜肥厚	
432	女	1950代	—	⑩	○	⑩	なし					●	オ	胸膜肥厚+硬化 巣	
433	男	1920代	—	⑩	○	⑩	なし					●	オ	プラ、左胸膜小 石灰化、右索 状影	
434	女	1920代	—	②,⑩	○	②,⑩	なし					●	オ	左S9結節3mm	
435	女	1940代	—	⑩	○	⑩	なし					●	オ	肝のう胞	
436	女	1950代	—	⑩	○	⑩	なし					●	オ	右S5索状影	
437	女	1930代	—	⑩	○	⑩	なし					●	オ	右S6粒状影+石 灰像、肝右葉 のう胞	
438	男	1960代	—	なし	○	なし	なし					●	オ		
計438名(男性:228名、女性:210名)								176	64	84	61	264			

A表(別表):2007年度受診していない方(過去に受診歴のある方)

症例 番号	性別	生年(西 暦)	2006年 度所見	2007年 度X線所 見	2007年 度CT	最新の 所見	疾患名	A.直接 職歴あり	I.間接 職歴あり	ウ.家庭 内ばく露 あり	エ.立入・ 屋内環 境ばく露 あり	オ.その 他	ばく露歴 分類案	備考(その他所見)	備考(終了理 由)
1	男	1930代	②,⑤, ⑧,⑨	—	—	—	なし	●					A		
2	男	1930代	⑨,⑩	—	—	—	なし	●					A	気管支拡張,気 腫性変化	
3	女	1930代	⑦,⑨, ⑩	—	—	—	なし	●					A	気腫性変化	
4	男	1940代	なし	—	—	—	なし	●					A		
5	女	1930代	なし	—	—	—	なし	●					A		
6	女	1930代	②,⑨, ⑩	—	—	—	f	●					A	気管支拡張,肺 気腫	
7	女	1930代	なし	—	—	—	なし	●					A		
8	男	1940代	②,⑤, ⑥,⑩	—	—	—	f	●					A	肺気腫、気管 支拡張	
9	女	1920代	②	—	—	—	なし	●					A		
10	男	1930代	②,⑨, ⑩	—	—	—	なし	●					A	炎症後変化	
11	男	1950代	なし	—	—	—	なし	●					A		
12	女	1940代	②,⑨	—	—	—	なし	●					A		
13	女	1930代	なし	—	—	—	なし	●					A		
14	男	1930代	なし	—	—	—	なし	●					A		
15	男	1940代	②,⑨	—	—	—	なし	●					A		
16	男	1930代	②	—	—	—	なし	●					A		
17	女	1930代	②,③	—	—	—	e	●					A		
18	女	1930代	②	—	—	—	なし	●					A		
19	女	1930代	なし	—	—	—	なし	●					A		
20	男	1940代	②,③, ⑦,⑨	—	—	—	e	●					A		
21	男	1940代	②,⑥, ⑩	—	—	—	なし	●	●				A	肺気腫	
22	男	1930代	②,⑤, ⑥	—	—	—	なし	●		●			A		
23	女	1940代	⑩	—	—	—	なし	●		●			A	気管支拡張	
24	男	1940代	⑧,⑩	—	—	—	なし	●		●			A	無気肺	
25	女	1940代	なし	—	—	—	なし	●		●			A		
26	女	1920代	②,⑨	—	—	—	なし	●		●			A		
27	女	1930代	②,⑨, ⑩	—	—	—	なし	●		●	●		A	気腫性変化	
28	男	1930代	⑧,⑨	—	—	—	b	●		●		●	A		

症例 番号	性別	生年(西 暦)	2006年 度所見	2007年 度X線所 見	2007年 度CT	最新の 所見	疾患名	ア.直接 職業あり	イ.間接 職業あり	ウ.家庭 内ばく露 あり	エ.立入・ 屋内環 境ばく露 あり	オ.その 他	ばく露歴 分類案	備考(その他所見)	備考(終了理 由)
29	男	1940代	②,⑧, ⑨	—	—	—	なし	●		●		●	ア		
30	女	1930代	なし	—	—	—	なし	●		●		●	ア		
31	男	1920代	②,⑤, ⑩	—	—	—	なし	●				●	ア	気管支拡張	
32	女	1940代	なし	—	—	—	なし	●				●	ア		
33	女	1910代	②,⑥, ⑨,⑩	—	—	—	なし	●				●	ア	気管支拡張、 気腫性変化	
34	女	1950代	⑧,⑩	—	—	—	なし		●				イ	気腫性変化	
35	男	1940代	②,⑨, ⑩	—	—	—	なし		●				イ	上葉切除後	
36	男	1950代	⑨,⑩	—	—	—	なし		●	●			イ	気腫性変化	
37	男	1920代	②,⑤, ⑦	—	—	—	なし		●	●			イ		
38	男	1930代	②,⑥, ⑧,⑨	—	—	—	b,c		●			●	イ	—	
39	女	1940代	なし	—	—	—	なし			●			ウ		
40	男	1950代	⑧,⑨, ⑩	—	—	—	f			●			ウ	肺気腫	
41	男	1940代	⑨	—	—	—	なし			●			ウ		
42	女	1960代	⑩	—	—	—	なし			●	●		ウ	プラ	
43	女	1940代	②,⑨	—	—	—	なし			●	●	●	ウ		
44	女	1930代	②	—	—	—	なし			●		●	ウ		
45	男	1950代	②	—	—	—	なし			●		●	ウ		
46	男	1930代	②,⑧	—	—	—	なし					●	オ		
47	女	1940代	②,⑧, ⑨	—	—	—	f					●	オ		
48	女	1950代	なし	—	—	—	なし					●	オ		
49	女	1920代	⑥	—	—	—	なし					●	オ		
50	女	1920代	②,⑩	—	—	—	なし					●	オ		
51	女	1960代	なし	—	—	—	なし					●	オ	気管支拡張	
52	女	1930代	なし	—	—	—	なし					●	オ		
計52名(男性:24名、女性:28名)								33	6	18	3	17			

注1:医学的所見については、胸部 X 線検査および胸部 CT 検査の結果を踏まえ、石綿関連疾患に関わる①～⑩の所見を確認する。(重複含む)

- ① 胸水貯留が認められる者
- ② 胸膜プラーク(限局性の胸膜肥厚斑)が認められる者
- ③ びまん性胸膜肥厚が認められる者
- ④ 胸膜腫瘍の疑いが認められる者
- ⑤ 胸膜下曲線様陰影の疑いが認められる者
- ⑥ 肺野の間質影が認められる者
- ⑦ 円形無気肺が認められる者
- ⑧ 肺野の腫瘍状陰影が認められる者
- ⑨ リンパ節の腫大が認められる者
- ⑩ その他の所見が認められる者

注2:医学的所見を踏まえ、疾患名が確定できるものを分類する。(重複含む)

- a 中皮腫
- b 肺がん
- c 石綿肺(石綿に起因するじん肺であって、じん肺管理区分が管理4に該当するもの又は管理2～3で次の合併症(i 肺結核、ii 結核性胸膜炎、iii 続発性気管支炎、iv 続発性気管支拡張症、v 続発性気胸)を伴うもの。)
- d 良性石綿胸水
- e びまん性胸膜肥厚
- f その他の疾患
- g 確定できる疾患なし

注3:ばく露歴については、該当するものにすべて●を記入(ア～オは重複可)

- ア. 直接石綿を取り扱っていた職歴がある者
- イ. 職場で石綿ばく露した可能性のある職歴がある者
- ウ. 家族に石綿ばく露の明らかな職歴がある者
- エ. 職場以外で石綿採取施設や吹き付け石綿の事務室等に立ち入り経験がある者
- オ. 上記ア～エ以外のばく露の可能性が特定できないもの(居住地や学校・職場等の周辺に石綿採取施設がある場合も含む)

(「具体的なばく露歴」の記入例)

例1 幼少期(S25-27頃)に石綿工場で遊んだ経験があり、父が石綿工場で勤務していた → ウとエ

例2 石綿工場近くの ○○小学校 にS30-35の6年間通学 → オ

例3 S28-40の間、設備の点検のため石綿工場に定期的に入り出していた。かつ、住居が石綿工場に近接(居住)していた → イとオ

(S26-50に○○1丁目)

イとエの分類が紛らわしいものの例: 業務上で吹き付け石綿がある場所や石綿工場の敷地内に立入する場合は、原則「イ」とする。ただし、作業現場以外(事務室・当直室・食堂など)への立入に限っては「エ」とする。

注4:ばく露歴分類案については、各事案のばく露要因を1つに分類するもの。なお、複数のばく露歴がある者については、基本的には下記に従うものとする

ア. 直接石棉を取り扱っていた職歴がある者

イ. 上記アに該当せず、職場で石棉ばく露した可能性のある職歴がある者

ウ. 上記ア～イに該当せず、家族に石棉ばく露の明らかな職歴がある者

エ. 上記ア～ウに該当せず、石棉取扱い施設や吹き付け石棉の事務室等に立ち入り経験がある者

オ. 上記ア～エに該当しないもの

上記以外による分類が適当であると考えられる場合や判断が困難な場合には、症例番号と具体的な内容を記入し、具体的な分類については環境省と相談することとする。

注5:経過観察・終了の欄については、経過観察中の場合は「経」、調査終了の場合は「終」とその理由を記入する

注6:備考欄については、特記事項を記入する

(例1:X線・CT以外の検査を実施した場合の検査項目の記入、例2:労災申請中である旨の記入 等)